

平成28年第5回（11月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

○ 小規模特認校について

教育委員会では、瀬戸内市内の各小中学校の通学区域について、教育委員会規則により規定していますが、このたび学校教育法等の規定に基づく学校選択制を導入することとしました。学校選択制についてはいくつかの形態がありますが、そのうち、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認める特認校制としました。この制度は、特色ある教育活動を行う小規模な学校について教育委員会が指定します。

この制度の導入に合わせ、裳掛小学校を小規模特認校に指定し、平成29年度から児童の受け入れを開始します。同校は、恵まれた自然環境に関連した産業や、歴史・文化を活用した多くの体験活動を行っています。この体験活動を通して、人々の思いや願いへの気付きや、ふるさとを大切にする心など、子どもたちの豊かな心を育むこととしています。

今後とも、各学校が地域の状況に応じて、特色ある教育活動が行えるよう支援していきます。

○ おかやま教育週間について

岡山県では、学校、家庭、地域社会が一体となって「地域の子どもは地

域で育てる」という機運を盛り上げるため、毎年１１月１日から７日までを「おかやま教育週間」としています。

本市では、各学校園の実情に合わせて、１０月１日から１１月３０日までの期間内を利用して教育週間の活動を行いました。各学校園では、学校開放を通して保護者や地域の方に子どもたちの活動や授業を自由に見ていただいたり、芸術鑑賞会や講演会、人権コンサートなどの行事に参加いただいたりするなど、創意工夫した取り組みを実施しています。学校開放は、各学校の発表の場や地域の方々とのふれあいの場ともなっており、今後も学校、家庭、地域社会が一体となって子どもたちを育てていける大切な機会と捉え、学校開放を継続していきたいと考えています。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では１１月１０日から来年の１月２２日まで、第１１回お守り刀展覧会を開催しています。今年度も、「文部科学大臣賞」や「駐日ポーランド共和国大使賞」が授与され、国内外から展覧会を高く評価いただいています。同時にお守り刀の一つである奉納刀の展示も行っています。特に日本美術刀剣保存協会岡山県支部が推進した「奉納刀研磨プロジェクト」にて真庭市の高岡神社所蔵の３口の奉納刀^{ふり}を研磨後、初めて展示公開しています。

来年１月２７日から３月２６日にかけては、特別展「大相撲と日本刀展」を開催します。日本相撲協会や相撲博物館、各相撲部屋及び全日本刀匠会の協力をいただき、横綱が土俵入りの時に使用されている太刀を中心に、化粧まわしなどを展示します。現代において日本刀が実際に使われている貴重な文化を紹介していきます。

○ 瀬戸内市文化祭・備前長船菊花展の開催について

公民館を拠点としてさまざまな文化芸術活動を行っている個人・団体の方々による日頃の学習成果の発表として、10月・11月に各公民館で文化祭を開催し、延べ約11,000人の方々の来場をいただきました。

中央公民館では、イデアウインドオーケストラによるディズニーセレクションや演歌のメドレーの演奏、また懐かしの流行歌を来場者と共に歌うなど男声四重唱と歌のコンサートも行われました。

また、今年で第30回の記念を迎えた備前長船菊花展を10月16日から11月15日まで開催し、約7,000人の方々の来場をいただきました。

展示会場には、菊づくり講座受講者や愛好家の皆さん105人による178点、1,000鉢余りの「市の花」菊が見事に咲き誇りました。11月4日から夜間のライトアップを行い、夜の幻想美もご覧いただきました。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、9月3日から10月23日まで、特別展「森陶岳の全貌展ーあくなき挑戦の軌跡ー」を開催しました。瀬戸内市名誉市民である森陶岳氏の人間像と、大窯プロジェクトに至った道をたどる展覧会として、初期の代表作から最新作を網羅した回顧展となりました。全国の所蔵家、東京・京都の国立近代美術館などから作品を集め、9割が岡山では初公開作品として大きな注目を集めました。

現在開催中の「香月泰男展－カーボン・エポックを中心に約80点－」では、シベリア抑留を経験し「愛と平和」に向き合い、自然の風物や母子像などを独自のタッチで描いた画家の展覧会です。これは平成25年度にも開催し好評を得た作家で、お客さまからの大きな反響に応える続編として企画しました。

12月23日から1月22日まで、新進気鋭の若手作家を取り上げる企画展として「石彫作家 北川太郎展」を開催します。薄い石材を積み重ねて素材の質感を生かし、重層的な時間を表現する独自の作風に特徴があります。

○ 図書館について

図書館では、今後市民の皆さまのニーズを的確に捉え、さらに多くの皆さまにご利用をいただくためには、市民協働による図書館づくりを進めていく必要があると考えています。その一環として、「図書館友の会」を創設し、広く市民の皆さまに呼びかけ、図書館の応援団になっていただきたいと考えています。

図書館運営のさまざまな局面で、市民の皆さまと意見交換をし、協働で事業を実施するなど、「新図書館整備実施計画」に掲げた図書館づくりを展開するために、ぜひ、多くの市民の皆さまにご参加をいただければと考えています。

また、長船図書館では読書環境改善の施設改修工事のため、12月1日から21日まで、休館させていただきます。その後、開館をしながら、書架の入れ替え等を進め、3月初旬にはリニューアル作業を完了させる予定としています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成２８年１１月２８日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次